第 1 講　原始の日本列島

PART5 資料・史料と原始・古代

Chapter1　考古学の資料

目標
「原始〔先史〕」の研究が，それ以降と異なる点について知ろう。
「古代」における考察方法について知ろう。

1　原始の遺物

①文字史料なき時代→考古資料頼み

②専門家による「思い込み」を打ち破った

岩宿遺跡の発見（1946 年）

アマチュアの相沢忠洋

→明治大学文学部考古学研究室が調査（1949 年）

③岩宿以後は約 1 万か所の

旧石器時代の遺跡が発見されている

④アマチュアによる

旧石器発掘捏造事件も起こっている（2000 年）

相沢忠洋『岩宿の発見』（講談社）表紙

2　古代の遺物

①**三角縁神獣鏡**は「卑弥呼の鏡」なのか？

A　日本では各地で同笵鏡（＝同じ鋳型を用い鋳造した鏡）が出土

※古墳時代前期の椿井大塚山古墳（京都府），黒塚古墳（奈良県）など。

B　中国では一枚も発見されていない

※舶載鏡（中国製の鏡）と仿製鏡（日本における模作）がある。

C　330 枚以上発見されており多すぎる

※「魏志倭人伝」には銅鏡 100 枚とある。

「景初三年」銘のある神原神社古墳（島根県）出土の例もあるが……。

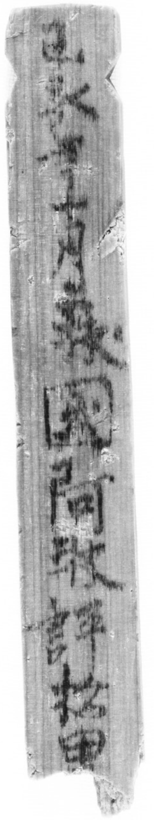
黒塚古墳から出土した 33 枚の三角縁神獣鏡

②**木簡**から判る・解ること

A　藤原京出土の木簡などで『日本書紀』の記述をめぐる「郡評論争」は決着

B　平城宮・長屋王邸出土の木簡などから貢進物を読み解く

C　大宰府・多賀城出土の木簡などから地方統治を理解する



藤原宮出土の木簡

まとめ
文字のない原始〔先史〕は，考古資料に頼り研究するが落とし穴もある。
古代においては，文献史料と考古資料を突き合わせて考察する。

Chapter 2　歴史学の史料

目標
原始〔先史〕の日本について記す海外の史料・金石文について知ろう。
古代の客観的史料・主観的史料について知ろう。

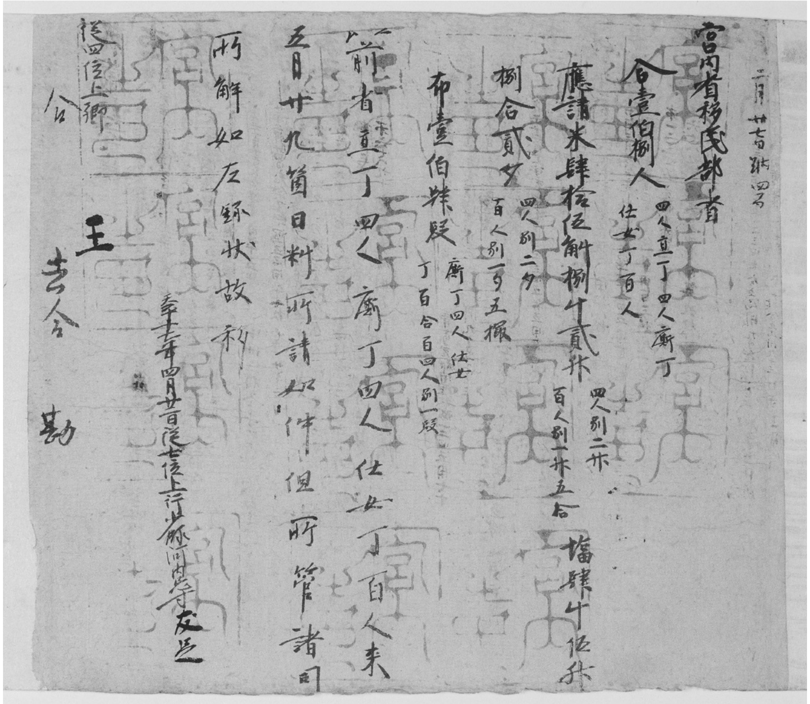
1　原始〔先史〕の倭に関する文献史料・金石文

①『漢書』地理志
紀元前 1 世紀の倭について記す。
②『後漢書』東夷伝
1 ～ 2 世紀の倭について記す。
③『魏志』倭人伝
3 世紀の倭について記す。
④高句麗「好太王（広開土王）碑文」
好太王の子である長寿王が，
中国吉林省の鴨緑江沿岸に建てた
石碑に刻まれた文。真贋が判明していない。
「百残新羅は旧是属民なり。由来朝貢す。
而るに倭，**辛卯の年**（391 年）より
このかた，海を渡りて百残を破り，
新羅を□□し，以て臣民と為す」

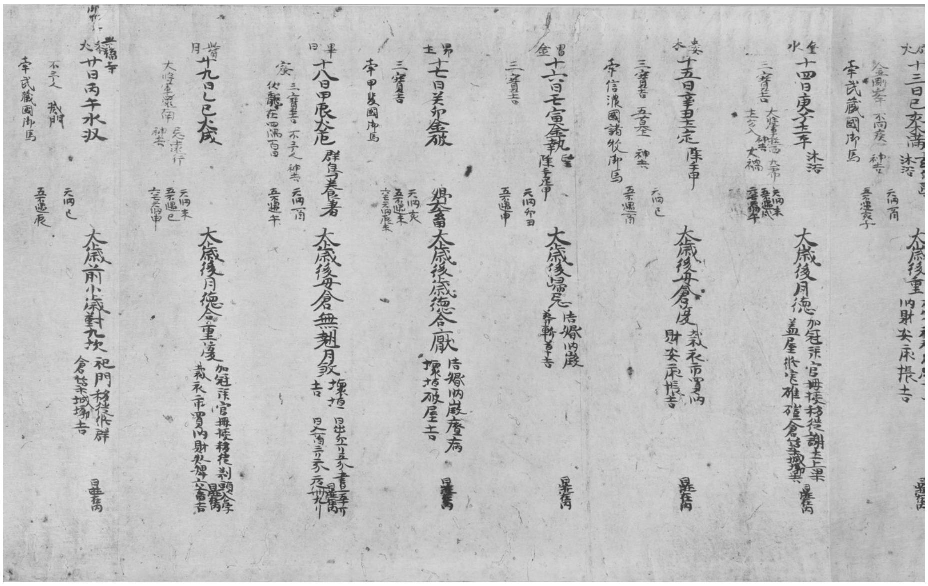
高句麗好太王（広開土王）碑

2　古代の日本に関する文献史料・金石文

①古代日本の金石文の例
A　稲荷山古墳出土鉄剣銘（埼玉県）
B　江田船山古墳出土鉄刀銘（熊本県）
②古代日本の客観的文献史料の例
『正倉院文書』→廃棄する戸籍の裏紙に写経した
③古代日本の主観的文献史料の例
『御堂関白記』（藤原道長）→ユネスコ「世界の記憶」に登録



『正倉院文書』



『御堂関白記』

まとめ

日本に文字がない時代でも，
中国の歴史書や高句麗の石碑からも倭の様子がわかる。
史料には客観的な記録と主観的な記録・創作などがある。

第 1 講　PART 5　確認問題

1　アマチュアである相沢忠洋が発見した遺跡はどれか。

① 登呂遺跡　② 岩宿遺跡
③ 吉野ヶ里遺跡　④ 三内丸山遺跡

2　同じ鋳型を用いて鋳造した三角縁神獣鏡が出土した古墳として**あてはまらないもの**はどれか。

① 椿井大塚山古墳　② 神原神社古墳
③ 稲荷山古墳　④ 黒塚古墳

3　「景初三年」銘のある鏡が出土した古墳はどれか。

① 神原神社古墳　② 浦間茶臼山古墳
③ 椿井大塚山古墳　④ 黒塚古墳

4　貢進物を読み解くことができる木簡はどれか。

① 多賀城出土の木簡　② 藤原京出土の木簡
③ 大宰府出土の木簡　④ 長屋王邸出土の木簡

5　碑文が残されている好太王（広開土王）はどこの国の王か。

① 百済　② 新羅
③ 高句麗　④ 高麗

6 「好太王（広開土王）碑文」に記されている 391 年は何という干支にあたるか。

① 庚寅　② 辛卯
③ 辛巳　④ 壬辰

7 古代日本の客観的文献史料の例としてあてはまるものはどれか。

① 『御堂関白記』　② 『正倉院文書』
③ 『神皇正統記』　④ 『吾妻鏡』

8 ユネスコの「世界の記憶」に登録されているものはどれか。

① 『正倉院文書』　② 『神皇正統記』
③ 『御堂関白記』　④ 『日本三代実録』

第 1 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：②　**岩宿遺跡**は，専門家による「思い込み」を打ち破って発見された遺跡として知られている。

2 解答：③　稲荷山古墳は，鉄剣が出土した古墳である。

3 解答：①　神原神社古墳出土の鏡を，卑弥呼の受けた**三角縁神獣鏡**と推定する説もある。

4 解答：④　①と③は地方統治を理解することができる木簡で，②は『日本書紀』の記述をめぐる「郡評論争」を決着させた木簡である。

5 解答：③　**「好太王（広開土王）碑文」**は好太王（広開土王）の子である長寿王が，中国吉林省の鴨緑江沿岸に建てた石碑に刻まれた文である。

6 解答：②　**「好太王（広開土王）碑文」**には，辛卯の年（391 年）以降，倭が南下してきた高句麗と交戦して敗れたと刻まれている。

7 解答：②　①は古代日本の主観的文献史料，③と④は中世日本の歴史書である。

8 解答：③　**『御堂関白記』**は藤原道長が書いた。